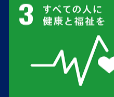
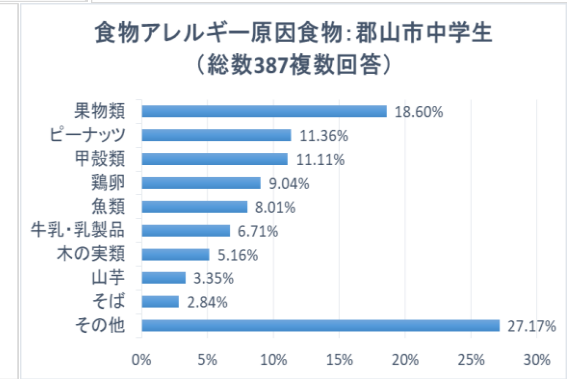
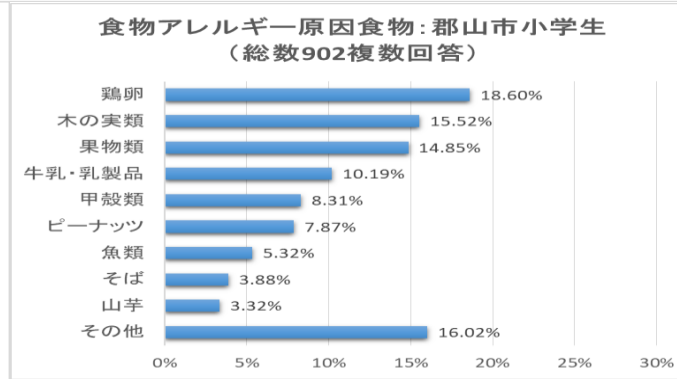
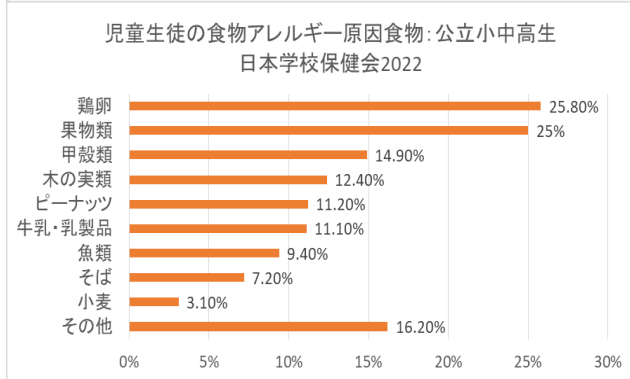
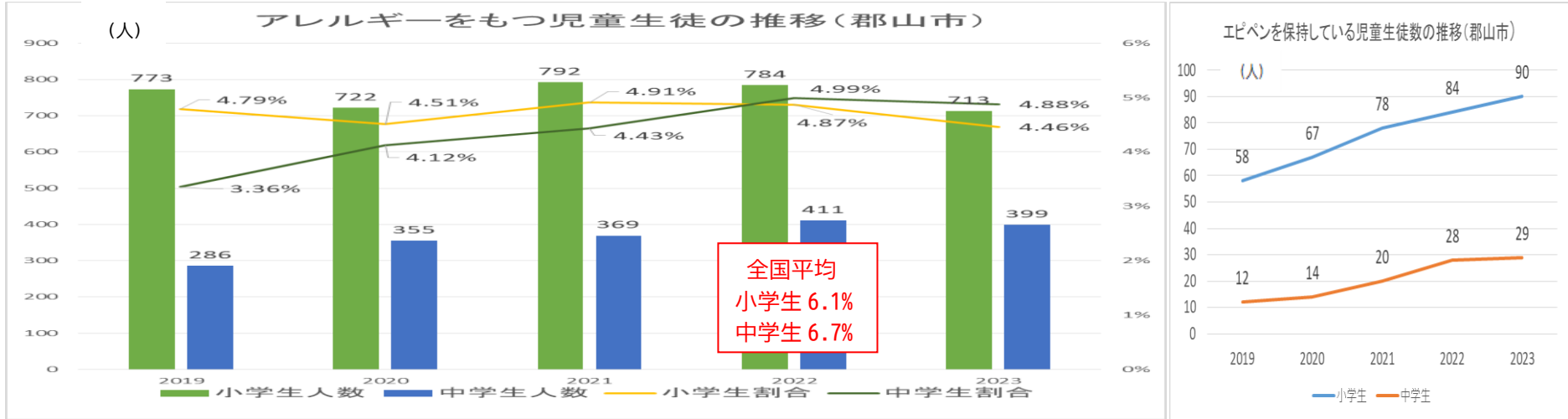


# 郡山市立学校児童生徒の食物アレルギーの状況（2023年度）



2023/7/25 学校教育課学校管理課  
報告事項

全国（公立小中高生）と郡山市（小学生・中学生）の食物アレルギーの状況（日本学校保健会報告書2022 および2023 各学校からのアンケート調査より）



## 【傾向】

- アレルギーのある児童生徒の割合は全国より低い。
- アレルギーのある児童生徒の数は増えてはいないが、エピペンを保持している児童生徒は増えている。
- 小学校では、鶏卵、木の実類、果物類、甲殻類と全国と同じようなアレルゲン傾向が見られた。
- 中学校では果物類、ピーナッツ、甲殻類のアレルゲンが多く、鶏卵が小学校の時よりも少なくなっている。

## 【郡山市教育委員会の対応】

- 毎年、食物アレルギー対応講座を実施し、全ての学校の参加のもと、専門医の講義や学校管理課から食物アレルギーに対する留意点について確認している。（今年度は4/11に実施）
- エピペンを保持している児童生徒の情報を集約し、保護者の同意のもと緊急時のために消防署へ情報提供している。

## 【学校の対応】

- 給食の提供について、一人一人の状況により、除去食や代替食等、保護者と協議の上、適切に対応している。
- エピペンを保持している児童生徒が在籍する学校では、緊急時の対応について必ず全職員で校内研修を実施し、共通理解を図っている。